

JOYO BANK NEWS LETTER

2025年3月21日

＜企画展＞「^{さいどまさお}道祖土昌男展」monologue & dialogue —常陽史料館—

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、常陽史料館（館長 高橋 博明）において、「道祖土昌男展」monologue & dialogue を開催しますので、下記のとおりお知らせいたします。

陶芸家・道祖土昌男さん（水戸市在住）は大学卒業後、都内でデザイナーとして勤務しましたが、その後陶芸に興味を持ち、笠間で作陶研修を受け築窯・独立しました。水戸市内にアトリエを構えて40数年、「作りたいものを作ることが大事」と自由な発想で制作を続けています。

ライフワークともいえる額装陶板画^{*}は、頭の中でテーマや物語を練り、それに合わせて作ったパーツをパズルのように組み合わせていきます。パステル調の微妙な色合いなど、高い技術に裏打ちされた完成度の高いパーツを使い、作品の中にハート型のモチーフを取り入れるなどして独自の世界を表現しています。

今展では、道祖土さんが手掛ける額装陶板画や立体絵画など、ユニークでハートフルな作品を紹介します。

※陶板画：陶器の板に図柄を描き焼き付けたもの

記

- 企画展 : 「道祖土昌男展」monologue & dialogue
展示協力者 : 道祖土昌男（陶芸家）
会 期 : 2025年4月8日（火）～5月31日（土）
休 館 日 : 毎週日曜日・月曜日、5月3日（土）～5月5日（月）
開館時間 : 10:00～17:00
会 場 : 常陽史料館 アートスポット（入場無料）

以上



道祖土

Saido

Masao

2025.4/8火-5/31土

休館日/毎週日曜日・月曜日、5/3~5/5

| 入場無料 | 常陽史料館

茨城県水戸市備前町6-71

昌男展

Exhibit

-monologue & dialogue-

陶芸家・道祖土昌男さん(水戸市在住)は大学卒業後、デザイン会社勤務を経て作陶研修し、築窯・独立しました。近年は陶や木などを素材にした額縁陶板画や立体絵画を制作し、フレームの中で顔や手、不思議な生き物などのパーツを組み立て独自の世界を表現しています。作品の中にハート型のものを取り入れることも道祖土さんのこだわりです。今展ではそんな道祖土さんの優品を紹介します。





Masao Saido Exhibition

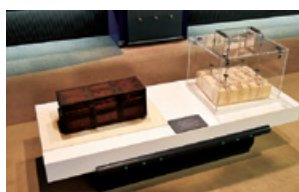
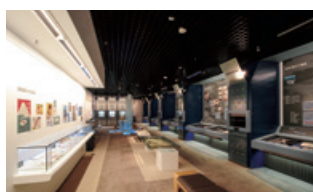
道祖土昌男展

-monologue & dialogue-

道祖土昌男(さいとまさお)プロフィール

東京都に生まれる
武蔵野美術大学卒業
東京にてデザイン会社勤務
アメリカ、ヨーロッパ各国にて研修
笠間市内の窯元にて作陶研修

- 1978年 現在地に築窯・独立
 - 1981年 第6回 日本陶芸展
 - 1982年 第20回 朝日陶芸展
 - 1983年 第7回 日本陶芸展
 - 1984年 第21回 朝日陶芸展
 - 1985年 第22回 朝日陶芸展
 - 1989年 第10回 日本陶芸展
 - 1990年 第1回 陶のコンテンポラリー
 - 1991年 第11回 日本陶芸展
 - 1991年 第2回 陶のコンテンポラリー
 - 1993年 内原町(現・水戸市)健康増進センターモニュメント制作
 - 1995年 水戸市「かたくり橋」陶壁制作
 - 2000年 北関東陶芸展「毎日新聞社大賞」受賞
 - 2003年 実験的オブジェ展「陶塊展」
 - 2009年～2024年 ギャラリー空で個展開催
- その他 東京・埼玉・茨城・静岡・宮城 他で個展、グループ展開催
現在：水戸市在住

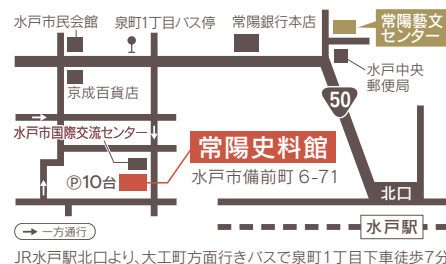


貨幣ギャラリー

貨幣や銀行に関する資料を展示しております。

史料ライブラリー

郷土の芸術・文化や金融、歴史に関する図書資料をご覧になれます。



The Jojo Siryokan 常陽史料館
Tel.029-228-1781

